

原案を承認 異例の書面による定期大会

熊本教育新聞



議事録に署名する平江、吉本両代議員

熊教組第129回定期大会は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、73年の歴史の中で初めての書面による議決方式で6月13日に行なわれた。

各議案に対する賛否を明

らかにした書面議決書が、各支部において選出された代議員からの郵送にて提出され、すべての議案が賛成多数であることを常執3名(委員長、副委員長、書記長)と議事録署名員(平江)

代議員、吉本代議員)で確認をした。

なお、第4号議案の運動方針に関わって、菊池支部から「新型コロナウイルス感染症から子どもや教職員を守り、教育環境整備を行うための活動を行います」という修正案が事前に提出

された。

この修正案は、6月6日の第2回ウェブ執行委員会で受け入れを決定し、書面議決書では第4号議案は修正案を含めて賛成多数であった。

今後は、決定された運動方針に沿って運動を展開し

17名が参加し盛り上がる

城北支部青年部お見知り会

るため、働き方に對して意見を出していこう」と述べた。

また、熊教組の吉里青年部長も駆けつけ激励と連帯の挨拶を行った。

参加者の自己紹介では、職場の状況等も報告された

るために、働き方に對して意見を出していこう」と述べた。

また、熊教組の吉里青年部長も駆けつけ激励と連帯の挨拶を行った。

参加者の自己紹介では、職場の状況等も報告された

5月30日、城北支部は青年部お見知り会を開催し、未組合員を含め17名の参加を得て盛り上がりを見せた。

平江支部長は主催者挨拶で「働くことは生きること。自分の生き方を他人が決めることではなく、自分で決めるのではなく、自分で決め

では決して教えない人生にとつて大事なお金の話」と題して、公的年金や公的医療保障の仕組み、保険・共済による適切な保障の考え方等について講座を行った。

参加者からは「あまり聞くことの出来ない話で勉強になつた」「保険の見直しをしてみたい」等の声が寄せられた。

ため努力いただくことになるが、それで過重負担にならないよう配慮が必要。実態をつかみ、働き方改革とス問題にかかる意見交換を行つた。

合熊本は、5月28日に田嶋副知事と新型コロナウイルス問題にかかる意見交換を行つた。

この中で、連合熊本の山本事務局長は、熊教組が懸念している学校再開後の問題にも触れ、田島副知事からは「学校再開後の先生方には授業の遅れを取り戻す

も合致する範囲となるよう市町村にも働きかけたい。」旨の発言があつた。

分会や単教でも職場の実態を踏まえて、過重負担解消の声を上げよう。

「先生の過重負担に配慮を」
連合熊本との意見交換で副知事発言

機関紙
発行所
熊本県教職員組合
熊本市中央区九品寺
1-11-4
☎096-372-1500
<http://www.e-ktu.com>
編集発行人・杉田正幸
定価 一部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

熊教組は県教委に対し6月12日「服務および労働安全衛生管理に関する要求書」を提出した。臨時休校による授業時数確保のため各市町村は夏期休業期間を短縮している。そのため、特別休暇(5日間)が確実に取れるよう行事や会議、研修を行わないことを求めている。

また、健康観察や消毒作業で時間外勤務が増加することが予想される。県教委としてはこの4月から時間外勤務の上限を月45時間とした。新型コロナウイルス感染症対策といえども時間外勤務の増加にはつながらないよう求めている。

さらに、例年にはな
い酷暑の中での校務は
教職員に大きな負担と
なる。定期健康診断や
ストレスチェックの実
施も要求書の中で求め
ている。

詳しい要求内容につ
いては別紙要求書を見
ていただきたい。

なお、この要求書を
もとにした交渉結果に
ついては次号以降の教
育新聞でお知らせする
予定である。

「アンケート用紙に
回答いただきそれぞれ
の支部または熊教組本
部に届けてほしい。な
お、6月下旬には熊教
組の「LINE公式アカウン
トでも同様のアンケー
ト調査を行う予定であ
る。別紙の公式アカウ
ントで友だち登録をし
た方にアンケートが届
く。ぜひ、職場の同僚
にも紹介いただき一
人でも多くの方の声を
届けてほしい。

熊教組は「LINE公式ア
カウント名は「KETU」
である。熊本県内の学
校で働く方であればだ
れでも友だち登録でき
る。グープラインでは
なく熊教組と友だち
登録いただいた方との
間の登録なので安心し
て登録いただきたい。
別紙を使って職場の同
僚にも友だち登録をお
願いしてほしい。働き
方改革に関する情報や
交渉の様子などをお届

けする。また、ライン
によるアンケート調査
なども行き、皆さん
の声を職場環境の改善に
生かしていく予定であ
る。

権利の窓

今年の夏の特別休暇
(5日間)の取得期間
は5月14日から10月31
日までと県教委から通
知されています。夏期
休業期間が短縮され
ための措置です。

県教委へ 要書提出

めのアンケートを
実施する。別紙の
アンケート用紙に



新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見えない中、学校再開で心身ともにエネルギーを使う毎日が始まりました。今年の熊本県教育研究集会(県教研)の開催をどうするか、

五月十三日、熊本県教育文化総合研究所(熊総研)メンバーで話し合った。十一月に国際交流会館で市・県・高の三教組が集まって全体会をした場合、いわゆる三密の状況は避けられない。感染症拡大の第二、第三波の可能性も否定できない現在、全体会講師依頼も難しい状況である。全国教研の開催についても未定の状況であるが、自己定の状況であるが、自分たちの日頃の教育実践を交流して、また全国教研選出を可能

する。
その後、市教組、高教組と話し合い、十一月三日に市・県教組、高教組それぞれ分科会のみの開催を決定した。

今年は各支部とも夏休みが短縮になり、学校現場は日々多忙化が進み、分科会レポートの作成も厳しくなることが予想される。レポートについては、これまで同様、支部が推薦し、県執行委員会の承認を受ける流れとする。

今後、県教研分科会推進委員にお知らせを出し、九月十一日(土)十五時から教育会館で県教研推進委員会を開く予定である。



十一月二日 今年は 県教研

今年は 分科会のみ開催

にするため、分科会のみの開催とする方針とした。

その後、市教組、高教組と話し合い、十一月三日に市・県教組、高教組それぞれ分科会のみの開催を決定した。

今年は各支部とも夏

休みが短縮になり、学

校現場は日々多忙化が

進み、分科会レポート

の作成も厳しくなるこ

とが予想される。レポー

トについては、これま

で同様、支部が推薦し、

県執行委員会の承認を

受ける流れとする。

今後、県教研分科会

推進委員にお知らせを

出し、九月十一日(土)

十五時から教育会館で

県教研推進委員会を開く予定である。

昨年度県教研分科会の様子



親と子と教職員の
教育相談室より

相談員 河崎醇二

体罰厳格化へと行政が熱心
県教委も熊本市教委もこの春、
体罰防止へと躍起になっている。
教育の手段として、体罰は法律
で禁止されている。にもかかわらず、
「愛のムチだ」「熱心さのあま
りに」というように賛成論が根強
かつた。しかし、体罰は決してし
ないようにして、國の方針がはつ
きり定まり、体罰のみならず暴
言も長時間立たせたりすることにな
った。県教委や市教委は、従来は児
童・生徒のけがの程度によって処
分の軽重を決めてきた。しかし、
体罰が後を絶たない」とから、処
分を厳格化することにした。熊
本市教委は、外部有識者による
「体罰審議会」を発足させた。そ
れだけ体罰が横行しているとい
うことだ。体罰なしの教育が実
現することを切に望むが、教育
相談室には、体
罰被害におのの
く相談が絶えな
い。